

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 28日

事業所名 ヴィストカレッジ金沢駅前

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		・活動内容に応じて別フロアの広い部屋を使用している。	・運動希望の訓練時などには、必要に応じて地域の活動スペースの活用を行う。
	2 職員の配置数は適切である		○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○				・階段の手すりに滑り止めや補助具等の設置を行う。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			・事業所内会議や朝礼終礼などを通し、スタッフ全員で話し合い改善を目指している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・保護者評価をもとに、週1回のメールFBを実施している。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			・HPIにて公表済み。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	・実地指導を適切に受け、結果を業務に反映させている。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			・特性理解のための社内研修、月2回の事業所内勉強会、研修情報の回覧などを行っている。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			・事業所単位のアセスメントツール、TTAP等のフォーマルアセスメントツールを活用。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			・事業所単位のアセスメントツールに加え、TTAP等フォーマルアセスメントツールを使用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・事業所内フォルダにて閲覧可能な状態でプログラムを公開している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			・前回の訓練後に児童本人に感想を聴取し、訓練に反映している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○				
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			・毎朝の朝礼、同訓練担当同士で必ず打ち合わせを行っている。 ・イベントの際は想定できるアクシデントについて共有。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			・終礼にて業務内容、活動内容の共有を行う。 ・何か危険の迫る自体やイレギュラーなことが起きた場合は必ず振り返りを行う。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			・毎回の記録を残し、訓練を組み立てる際には、必ず前回までの記録を参照している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			・毎回の訓練において、個別支援計画に沿った内容を実施し、記録に残している。 ・相談員と情報共有しながら実施。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			・本人の希望を尊重し、日常生活で必要となるスキル獲得を目指し支援を行っている。		
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			・児童の支援担当と児童発達支援管理責任者が参加。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			・長期休暇等での日程に関してHPや保護者配布資料を確認している。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		・受け入れ実績なし。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			・過去の記録を参考に、会議への参加、資料を提出している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			・事業所内にて、発達障害者支援センターのスタッフによる研修を実施。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○		・地域で開かれる障がいのない子どもが参加するイベントに参加する機会を持つ。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		・令和1年に開かれた金沢市内放課後等デイサービスの連絡協議会に参加。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			・送迎に来られた保護者には必ずフィードバックを行う。 ・毎週、支援の内容をメール等にて保護者に伝えている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			・自事業所主催のイベントにてペアレントメンターの研修を実施。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			・事業所内相談、家庭連携を通し実施。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			・保護者会、保護者参加のイベントを実施。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			・2か月に1回広報を作成し、各家庭に発送。	
	35	個人情報に十分注意している	○				
非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			・一人一人の特性に合わせたコミュニケーション方法を実施。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		・感染症予防をエンタランスに掲示している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		・虐待防止研修に参。	・事業所内の勉強会にて理解を深める機会を持つ。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			・重要事項説明書に記載し、面談時に保護者に共有。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			・面談時にアレルギーの有無の聞き取りを実施。 ・イベント等で食品を扱う場合は、アレルギーの有無について事前確認を実施。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			・システムを使用し共有。 ・他事業所でも共有できるように作成。		